

研究計画 ver5 (2019/12/13)

◎イントロ

- (1) 人間の特性はのび太型とジャイアン型に分けられる
谷中他 (2011) No21、鳥鈴 (2012) No.45、出来杉 (2015) No10・・・
レビューとして、島猫 (2018) No55
 - (2) のび太型の方がジャイアン型に比べて不利な点が多く適応的でないとする
谷中 (2016) No9←質研究
(メモ) 量の研究が見つからない、根拠として弱い。これ探す
 - (3) のび太型の生活環境はストレスフル
源 (2019) No3 ← (メモ) やや主観あり、方法論に難あり。他探す
 - (4) のび太型は不利な点の多さのわりに健康的
不ニヤ子他 (2000) No22, 出木杉 (2017) No.30
(メモ) 出木杉 (2017) No30 ← しっかりした量研究。使える。
 - (5) ストレスフルな環境は精神疾患の罹患率と関連する
骨川他 (1980) No81, Christiane G (1988) No.85, Christiane G (1989) No.86
レビューとして Christiane G (1993) No.88
 - (6) レジリエンスの高さはストレスを受け流す
野比他 (1999) No45
(メモ) 研究は多くあるが、調査うすい。後でちゃんと調べる
- 目的: のび太型の適応的な側面として、レジリエンスの特性を明らかにする
仮説: のび太型はジャイアン型に比べてレジリエンスが高い

◎方法

- ・質問紙調査
- ・対象: 成人日本人 400 人
- ・使用質問紙
 - (1) のび太型測定尺度: 出木杉 (2015) No10
 - (2) ジャイアン型測定尺度: 出木杉 (2015) No10
 - (3) レジリエンス特性尺度: 野比他 (1999) No45(メモ) ストレスを測定するか検討
- ・解析
 - (1) のび太型とジャイアン型の個人を特定 (出木杉 (2015) の基準値による)
 - (2) のび太型とジャイアン型のレジリエンス得点の平均値を比較 (t 検定)
 - (3) のび太型特性値とレジリエンス得点の相関分析
← (メモ) 相関を見るということは、目的と仮説、再検討? →

コメントの追加 [h1]: しっかりした研究計画は、そのままゼミや研究(中間)発表等の資料として使いまわせる。

コメントの追加 [h2]: 研究計画は上書きせず、バージョンごとにファイル管理。前に戻ることはよくある。

コメントの追加 [h3]: 論理構造を見るのが目的。各段落のつながり、根拠の強さ等を精査する

コメントの追加 [h4]: 論文データベースの No

コメントの追加 [h5]: 根拠がしっかりしていて研究がたくさんある場合、代表的なレビュー論文を挙げておくとよい

コメントの追加 [h6]: 自分へのメモ。弱いところ、あとでやることを書いておく。

コメントの追加 [h7]: 目的・仮説をどう具体化するかを検討。

コメントの追加 [h8]: 方法を考えていく中で、目的仮説、イントロが変わることはある。

◎引用文献

Christiane G. (1988). Relationship between mental disorder and work life. *Nature*, 555, 12121-12125.

.....

鳥鈴大介. (2012). のびジャイ尺度を用いた心理特性と放課後生活の満足度の関係. *空想発達科学*, 12, 59-70.

.....

谷中久和・谷中正和. (2011). のび太型とジャイアン型の心理特性尺度開発. *ドラえもん心理学研究*, 109, 110-126.

.....

コメントの追加 [谷中9]: 研究計画で引用した文献は、引用文献として書類の一番最後に載せておくと便利。フォーマットは、しっかりしている学会誌を決めて、その投稿規程および投稿論文を参考にする。
このまま卒論や発表レジュメとして使えるのがよい。ここでは面倒なので、全部は記載していない。
フォーマットは発達心理学研究に準拠。